

# 熊本地域医療センターだより

院長 杉田裕樹

令和4年(2022年)12月発行

熊本地域医療センター電話番号(代表) 096-363-3311 FAX 096-362-0222

〒860-0811 熊本市中央区本荘5丁目16番10号

通算211号  
202212月号

## 熊本地域医療センター 理 念

かかってよかった。  
紹介してよかった。  
働いてよかった。  
そんな病院をめざします。

## contents

わかりやすい診療部紹介～皮膚科～	P1
わかりやすい部門紹介～本館3階北病棟～	P2
ステップアップ研修	P2
ボーリング大会開催しました!	P3
「友達の輪～Relayトーク 第20弾」	P4

## わかりやすい 診療部紹介

## ～ 皮膚科 ～

皮膚科部長 **もりや ちかこ**  
**守屋 千賀子**



熊本市医師会会員の皆様こんにちは。平素より患者様のご紹介などお世話になっております。

さて、改めて当院皮膚科診療についてご紹介させていただきます。常勤医は1名、外来診療は基本的に紹介制で火曜日以外の平日は毎日診療しています。木曜日は大学病院からの派遣医師が外来診療を担当しており、今年度は金子彰良先生が来られています(診察についた看護師から「看護師にも優しい先生」との声が届いています)。火曜日は手術日で手術室にて良・悪性腫瘍の切除術を行っています。今年4月からの半年間において、紹介なし新患は入院患者の付き添いの方1例だけでした。紹介元は多い順に院内、院外非皮膚科、

院外皮膚科となっていました。会員の先生方には予約時、紹介状の事前ファックス送信にご協力いただきありがとうございます。紹介いただいた患者様については治療の目処がつくまで当科でフォローさせていただき、落ち着いたところで逆紹介するようにしています。ちなみに新入院患者については蜂窩織炎が多くを占めました。当院ホームページで周知しているように、新患は11時までに受診していただくと助かりますが、急病者については適宜受け入れますのでお手数ですがご一報ください。また「どこの皮膚科に紹介したらよいかわからない」という場合や、「紹介すべきか判断が難しい微妙な症状」についてもご紹介いただくと対応いたします。他科同様、発熱を伴う患者様については診察前に新型コロナウイルス抗原検査で陰性を確認後に診察しています。

この原稿を書いている今現在は新型コロナウイルス感染第7波が下火になり、外国人観光客の制限が撤廃、政府の全国旅行支援も始まり観光業は賑わいをみせています。しかし、東京などでは次の注意すべき変異株も確認され、早くも全国的に患者数は増加に転じつつあるようですので油断できません。コロナに負けないよう、会員の皆様方もくれぐれもご自愛ください。

## わかりやすい 部門紹介

## ～本館3階北病棟～

なかむら えみ  
本館3階北病棟師長 中村 絵美



本館3階北病棟は、41床の急性期一般内科病棟です。主な診療科は、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科です。HCU（ハイケアユニット）の後方支援としての役割も持ち、緊急度・重症度の高い内科疾患の患者さんを多く受け入れています。今回は、本館3階北病棟の

2つの特徴をご紹介します。

まず1つ目です。地域医療センター看護部は、2019年度よりセル看護提供方式<sup>®</sup>を導入しました。セル看護提供方式<sup>®</sup>（以下セル看護）とは、「製造業のセル生産方式」に由来しており、福岡県飯塚病院で開発された看護提供方式です。セル看護は、「患者のそばで仕事をする＝患者に関心を寄せる」を基本姿勢としており、看護師が患者さんのそばにいて、患者さんの変化に即座に気づき、ニーズを先読みしたケアの提供ができる仕組みです。本館3階北病棟は、セル看護のモデル病棟として、導入当初より先駆的に取り組んでいます。常にベッドサイドにしながら、リーダーやメンバー、多職種を含めたチームで話し合いながら、患者さんにとって安全で質の高いケアの提供を目指しています。また、`勤務時間内に最高の

パフォーマンスを発揮する”という看護部目標に向け、常に時間を意識しながらチーム全体で業務の進捗管理を行っています。患者さんへのケア、個々のスタッフが抱えている業務量など、お互いに声をかけ合い、協力しながら仕事を進めることができる、とてもチームワークのよい病棟だと思っています。

2つ目は、慢性疾患の増悪を繰り返す高齢患者さんへの多職種連携と退院支援の強化です。診療科の特徴から、肺炎や心不全などの後期高齢の患者さんが多く入院されます。これらの患者さんは、再燃を繰り返し、疾病や入院をきっかけにADL低下を来し、生活再編を余儀なくされるケースも少なくありません。そのため、急性期の医学管理を行い重症化・再燃を予防することはもとより、治療を終えたら速やかに元の生活の場に戻れるよう、多職種と連携を図り、チームで介入しています。入院早期より、患者さんの抱える医学的課題や生活・介護的課題を多職種で共有し、目標設定を行います。そのためには、患者さんのそばにしながら、退院後の生活や暮らしをイメージし、患者さんのニーズを先読みした看護実践が重要だと考えています。まさに、当院の教育ビジョンにある、`一次二次救急対応と、健康レベルに応じたケアの提供で、地域につなぐ看護師”を目指し、取り組んでいきます。

### 熊本地域医療センター ステップアップ研修のお知らせ

## リンパ浮腫の看護～弾性包帯の巻き上げの実践～

講師：緩和ケア認定看護師 西村 直子

日時 / 2022年12月22日（木）18：00～18：45

形式 / オンライン方式（ZOOM）

対象者 / 医療機関・訪問看護ステーション・介護施設等に勤務する医療従事者の方

申し込み方法 / QRコード<sup>(※1)</sup>よりお申し込み下さい。入力されたメールアドレス宛に受付完了メールが届きます。

（申し込み後3日以内にメールが届かない場合は、担当者までお問い合わせください。）

※熊本地域医療センター ホームページからでも行えます。

申し込み期限 / 12月16日（金）まで

※研修開催3日前までに、ZOOMのIDとパスコードをメールでお知らせします。また、当日日程調整が難しい方は、担当者にご相談ください。

(※1) 申し込みQRコード



【問い合わせ先】熊本地域医療センター 看護部 浅井 栄

# ボウリング大会開催しました！

親栄会 ほんだ ななこ  
本田 奈菜子

11月11日、熊本市中央区にある「スポーツ熊本」にて3年ぶりに念願であったボウリング大会が開催されました。開催日にちなみ参加者全員分のポッキーやプリッツなどのお菓子が用意され、久しぶりの開催とあって期待に胸高まる中、ゲームがスタートしました。

今回も約70名以上の方々にご参加頂き、上位を狙って互いに応援し合い、一投一投に「頑張れ～！」、「惜しい～！」と声援が飛び、珍プレー好プレーに思わず笑顔になり、連続ストライクに歓喜し合う、参加者全員が楽しめる大会となりました。

また3年ぶりの開催で、初参加や久しぶりに参加する方も多く、仕事のリフレッシュもでき、ボウリングを通して業種や年代を超えた交流を深めることもできました。

表彰式では男女上位5名は勿論の事、キリ賞、ブービー賞には各豪華賞品が用意され、

獲得者への盛大な拍手が贈られました。そして最後に、院長に温かいお言葉を頂き、令和4年度のボウリング大会は無事終了致しました。

コロナ禍によって度重なる延期の中、今回の開催にあたりご準備頂いた親栄会役員の方々、またご多忙な中参加頂いた皆様に感謝御礼申し上げます。ボウリング大会を通して医療者チーム一丸となって、地域医療センターへ貢献できるよう励んで参ります。



※撮影のため、マスクを外しています。

## 熊本地域医療センター勉強会のお知らせ

※12月の勉強会は開催いたしません。次回は2023年1月開催予定となっております。

日時／2023年1月23日(月) 19:00～20:00

形式／ハイブリッド方式 オンライン参加 or 会場参加

オンライン参加：ZOOM 会場参加：2階多目的ルーム

申し込み方法／[kumamotochiiki@gmail.com](mailto:kumamotochiiki@gmail.com) (※1) まで (※1) 申し込みアドレス

メールにて「所属医療機関名」および「氏名」を記載し、お送りください。(後日、詳細な参加方法についてご案内いたします。)

※会場参加を希望される方は、事前にお申し込みください。

人数制限によりご案内できない場合がございます。

※予定が変更になる場合がありますのでご注意ください。



### ①症例報告

『急速な増大を認めた多発肝血管腫の1例』

外科 小野 明日香 医師

### ②特別講義

『安定冠動脈疾患における治療方針について』

CC42：胸痛

循環器内科 平田 快紘 医師

## 「友達の輪～Relay トーク 第20弾」

しおや 塩屋 公孝  
しおや内科・内視鏡クリニック



みなさま、こんにちは。  
2019年に南区江越にしおや内科・内視鏡クリニックを開設しました塩屋公孝と申します。いでた平成眼科クリニック、出田隆一先生よりバトンを頂きました。

私にとっての熊本地域医療センターの第一印象、それは「38km 地点の一番苦しいところの壁」です。何を言ってるのか!? たぶん熊本城マラソンを走ったことのある方ならピンと来る方もいらっしゃるかと思いますが、熊本城マラソンのコースにおいて、地域医療センターはとにかく一番キツイところにあるんです。私はコロナで中止となった2021、2022年を除いて第1回から連続出場中ですが、38km 地点にある地域医療センターの交差点を通過する時が一番心身ともにシンドイような気がします。あそこを余力を持って走って通り過ぎたいのですが、実際には失速して知り合いに見つからないよう俯き加減に通り過ぎたことの方が多いかもしれません。

すみません、いきなり、話が脱線しました。

クリニックで診療している身としては熊本地域医療センターにはなんといっても患者様のご紹介においてお世話になっています。具体的には「救急外来に紹介するにはオーバートリアージなのかもしれない、だけれども帰宅させるには怖い、出来れば入院適応の有無を含め評価して頂きたい」というような場合をお願いすることが多いのですが、いつも快くご

対応頂きますし、当院かかりつけの患者様が地域医療センターへ入院された際は、各組織の方々が組織横断的な連携をなさって自宅や地域へ帰すマネジメントをしてくださり、心細かいクリニックの立場としては大変心強いですし、まさに「紹介してよかった」と感じる存在です。

また、ヘルスケアセンターで健診を受けられた方が二次精査としてクリニックを受診されることもありますし、私自身、学生時代にはポリクリの一環として研修させて頂いたこともありますし、予防医療から二次救急、教育まで幅広い守備範囲を担っている存在、という印象です。

今後、超高齢化のピーク、医療需要総量のピークに向けて、かかりつけ医としての役割は、患者様、その御家族、生活や環境を含めて身体から生活までを包括的に診ることができなければならないでしょう。私としましても、今後も引き続き地域医療センターのバックアップを頂きつつ微力ながら地域医療に貢献したいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

そして2023年の熊本城マラソン（2月19日）はスキップするような足取りで地域医療センターの前を通り過ぎたいです！

今回は私が消化器の道に進んだ時から公私ともに兄貴分としてお世話になっている川尻尾崎内科、尾崎徹先生にバトンを託します。



### 熊本地域医療センター

■ 医師へ直接紹介される方はこちら  
☎096-363-3311 (代表)

■ 何科に紹介するか迷っている場合はこちら  
※ベテラン看護師が対応いたします！

(平日9:00~17:00) ☎096-372-0600

■ 画像診断・内視鏡などの検査予約はこちら(連携室)  
☎096-366-1323

### 編集後記

Y Relay トーク友達の輪 第20弾は、しおや内科・内視鏡クリニックの塩屋公孝先生に、「紹介してよかった」と当院の理念の一部をご紹介いただきながら、来年再開される熊本城マラソンに絡めて当院を語っていただきました。ありがとうございました。

K 熊本城マラソンの当確が決まったからでしょうか。爽快に走る、地道に走る姿と様々ですが、挑戦されることに感動を感じる日々です。目標もなく、毎日が過ぎていくことに、自己嫌悪…。来年は、何かひとつでも挑戦する年にしたいと思います。

H 親善会ボーリング大会に参加してきました。結果はなんとも言えませんが、数年ぶりのイベントということもあり、楽しかったです。これからは with コロナに向け、少しずつ規制が緩和されていくことを願っています。